

令和8年度

南陽市民大学講座



南陽で、
地域を学ぶ。

Citizen University Lecture

開講日

第1回 9/19 (土)
第2回 10/10 (土)
第3回 10/31 (土)
第4回 11/21 (土)

会場

えくぼプラザ（赤湯公民館）
大会議室

募集定員 先着 **50** 名

各講座の詳細は裏面をご覧ください

受講料

通年： **2,000** 円 …通年受講者には全講座終了後、
事業報告書をお送りします。
(単回： **500** 円)
※高校生以下無料

申込方法

氏名、住所、電話番号、年代を明記の上、下記まで
お申込みください。



オンラインでの
申込はこちら

〒999-2292 南陽市三間通 436-1
南陽市教育委員会 社会教育課 (市役所4階)

電話 (0238) 40-8992
FAX (0238) 40-3388

申込〆切

8/28 金

南陽市民大学講座実行委員会／南陽市教育委員会社会教育課
市HP | www.city.nanyo.yamagata.jp/syougaiakusyu/612

令和8年度市民大学講座に申込みます。

申 込 用 紙

氏 名

電話番号

年 代

受講希望 (○印を記入)

住 所

通年

①

②

③

④

代

令和8年度 南陽市民大学講座

I 東北の長崎とは何か？

9月19日(土)
13:30～15:30
えくぼプラザ

【定員50名】

米沢藩の医学振興と、とりわけその発展に尽力した9代藩主である上杉鷹山の取り組みとその成果を検証する。医学校好生堂の創設や私塾を開いて医者育成にあたる藩医の活躍。領内（置賜地域）特に、北条郷（南陽市）の郷村医、町医者、宿場医たちが、痘瘡（疱瘡・天然痘）、コレラなどの感染症はじめ、病と闘った江戸時代の地域医療の一端を理解したい。

上杉神社稽照殿館長

角屋 由美子 氏

II 山形のもののけ・置賜のあやかし

10月10日(土)
13:30～15:30
えくぼプラザ

【定員50名】

山形県は怪談や妖怪譚の宝庫であり、なかでも南陽を中心として置賜には知られざる不思議な伝承が多い。それらが生まれた背景について実話怪談を交えながら解説し、南陽の知られざる秘密を解き明かしていく。

怪談作家

黒木 あるじ 氏

III 「二色根館と栗野氏」－中世の北条郷－

10月31日(土)
13:30～15:30
えくぼプラザ

【定員50名】

中世、伊達氏の領する置賜にあって、北条郷では国人領主の栗野氏と大津氏が大きな勢力を持っていた。

その栗野一族の惣領が居した二色根館とはどんな城だったのか、赤色立体図等を元にその実態に迫りつつ、天文の乱前後における中世の北条郷の様相について考えてみたい。

南陽市教育委員会
社会教育課
史跡文化主幹

角田 朋行 氏

IV 人手不足を救う！スマート農業とICT活用術

11月21日(土)
13:30～15:30
えくぼプラザ

【定員50名】

なぜ今、農業で「人手不足」が深刻なのか。

その背景を南陽市農業の歴史と社会構造の変遷から探り、現場でどのように対応してきたかを追う。

そして、ドローン、自動運転、データ活用など、スマート農業やICT技術によって、農業の未来がどう変わろうとしているのかを具体例を示しながら紹介する。

「人が減る時代に、農業をどう守り、発展させるのか」を考える。

おりはたスマート
アグリタウン協議会
世話人

嵐田 孝樹 氏

南陽市民大学講座は、平成9年にはじまった地域学講座です。主に南陽市や置賜地域の歴史や文化、多様な地域資源を学ぶことで、自分自身と地域のつながりを再認識し、地元への愛着を深めてもらうことを目的としています。さらに、現代社会の身近な課題との関係性にも目を向け、地域課題の解決や、住民の主体的な活動につながる学びが得られるような講座づくりを目指します。

「地域のことをもっと知りたい！」そんな思いをお持ちの皆さん！
一緒に地域探究の旅に出かけましょう！

